

# SS 探究 群馬県 SSH 等合同成果発表会

令和 5 年 9 月 9 日 群馬県総合教育センターにて

「群馬県 SSH 等合同成果発表会」が、群馬県総合教育センターで開催され、県内の SSH 校等の 6 校が集まり、発表者、見学者合わせて約 80 名が参加しました。

この発表会は、県内の SSH 校など、課題研究を実施している高等学校が一堂に会し、日頃の研究成果をポスター形式で発表するものです。特にこの時期は、年度末と異なり、まだ研究が軌道に乗っていないものも多く、スタートアップの相談会のような意味も含んでいます。今年度は、全 28 の発表があり、本校は 2 年生の SS 探究選択者 8 名（6 テーマ）が研究発表を行いました。

## ※研究テーマ

「ちりとりのゴミはなぜ残るのか」

「Y 字構造を用いたダンボール壁の防音効果」

「うちわの風速を大きくする紙とはどのようなものか」

「地震による振動の影響を受けない家具の作成」

「緑茶の茶殻を利用した曇り止めの作成」

「牛乳の脂肪分を用いたセッケンの生成」

2 時間の発表時間のうち、本校の生徒は前半に発表見学を、後半に研究発表を行いました。生徒たちは、参加者と意見交換をすることや、6 名の大学の先生方、参加校や教育委員会の先生方による指導助言を受けることで、これまでの研究内容を振り返り、今後の研究の方向性を検討することができたようです。また、他校の研究の状況を見て、刺激を得ているようでした。

今後は 11 月の理科学研究発表会に向けて研究をさらに発展させていくこととなります。その上でも、充実した成果発表会となりました。



発表の様子



見学の様子